

お問い合わせ：公益社団法人日本ラクロス協会

2024年10月3日

広報担当：今井

Email: [k.imai@jpnlacrosse.org](mailto:k.imai@jpnlacrosse.org)

## 90%以上のラクロス会員（元会員含む）が、 ラクロスを「自己意思決定」「変化」「挑戦」 「組織を超えた交流」を尊重するスポーツと認識

- 日本のラクロスコミュニティの価値観や意識に関する  
ラクロス統計調査 2023』の結果公開について -

# ラクロス統計調査 2023

これからの日本ラクロスの未来を描くために。



2023年度、日本ラクロス協会（JLA）は、ラクロスの更なる価値向上を目指して、2022年度に引き続き、大阪体育大学 スポーツ科学部 スポーツマーケティング研究室（藤本淳也 教授）と連携協力し、日本ラクロスに関する大規模調査『ラクロス統計調査 2023』（以下、本調査）を実施致しました。

### ■ 調査結果要旨

- ・ラクロス会員（元会員含む）・一般層に共通して「かっこいい」「激しい」「楽しい」「速い」などの競技イメージが浸透。一般層では「おしゃれ」というキーワードも。（調査レポート P.16）
- ・90%以上のラクロス会員（元会員含む）が、ラクロスを「自己意思決定」「変化」「挑戦」「組織を超えた交流」を尊重するスポーツと認識（調査レポート P.13）。
- ・ラクロス会員（元会員含む）がラクロス観戦を勧める理由の上位は、「スピード感」「試合展開」「迫力」「攻守の切り替え」（調査レポート P.11）
- ・実は一般層の方が、ラクロス会員（元会員含む）よりも「ラクロス観戦」を勧めている（調査レポート P.11,20）



## ■ 調査概要

【調査名】 ラクロス統計調査 2023

【調査対象】 日本ラクロス協会会員（元会員を含む）、一般(会員・元会員以外)

【調査期間】 2023年1月13日(土)~3月31日(日)

【調査方法】 Web アンケートツールを用いたオンライン調査

【調査項目】 人口統計的特性、ラクロス関連項目、ラクロスブランド（ブランド連想）、  
ラクロスプレーヤー・ブランド（イメージ）、ラクロスへのコミットメント項目  
（態度・行動）、幸福度、ラクロス推奨度（NPS）、その他

【有効回答数】 日本ラクロス協会会員(元会員を含む) 有効回答数 1,326

一般(会員・元会員以外) 有効回答数 305

【調査担当者】 公益社団法人日本ラクロス協会

藤本淳也 大阪体育大学 スポーツ科学部 教授

## ■ 調査レポート詳細

[こちらより](#)ダウンロードください。

## ■ 公益社団法人日本ラクロス協会について

日本で最初のラクロスチームが立ち上がった翌年の1987年に設立されました。現在、全国の男女約320チーム、約13,000人が会員登録しています。全国で学生・社会人クラブのリーグ戦や全国選手権の開催のほか、小中学生に向けた普及イベントを多数実施しています。

こちらのリリースに関して、詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

公益社団法人日本ラクロス協会（広報：今井）

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 2-5 石倉ビル 1階

お問い合わせフォーム：<https://www.lacrosse.gr.jp/contact/>

公式サイト：<https://www.lacrosse.gr.jp/>